

委員長 それでは、質疑が終わりましたので、採決に入ります。令和元年度松田町一般会計歳入歳出決算につきまして、賛成の方の挙手を求めます。

賛成多数。令和元年度松田町一般会計歳入歳出決算につきましては、賛成多数で可決すべきものと決定いたしました。

お諮りいたします。報告書の作成について、どのような形にしたらいでしょうか。御意見のある方はお願いいたします。

平野委員 今、質疑応答の中で気になって、これは付託にしたいなというようなものを皆さんにお聞きして、それが出たところで委員長、副委員長で原案を作成するというので、どうでしょうか。

委員長 どうでしょうか、今の御意見に対して。よろしいですか。

内田委員 すみません、ごめんなさい。通常はどういうふうにしてるのかな。

平野委員 いつもそういう感じなので、付託にしたいようなものを皆さんに聞いて。

内田委員 なければ…。

平野委員 それで、それを聞いてから委員長、副委員長で文章をちゃんと原案を作って、事務局も一緒にね。それで…。

内田委員 やってるわけだね。

委員長 よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

では、付託にしたいような事項がございましたら、よろしく願いいたします。特記事項。

平野委員 どうでしょう、何か不用額、意外と気にされた方が多かったと思うんですが。

内田委員 結構あったね。

平野委員 不用額のことを一つ加えていただきたいかなと思います。ただ、私は、建設関係なんかは、ほら、落札差とかね、あとごみ関係もね、ごみを減らしたことによる小さくなったとか、何かそういう理由がある部分は、それは全然構わないと思うんですが、やっぱり残念ながら実現できなかったようなものとか、それでもうぎりぎりになって判明したものはしょうがないにしても、途中で分かったものに関しては、どこかの時点で補正をすとかしたほうが、決算書をもったときに不用が多いと、こちらもすごく気になるので、何か無駄な質問し

ちゃうというかね。でも、実現しなかったものが途中で不用額が補正にされちゃうのも、また見落としがちになっちゃうのかもしれないんだけど、どっちがいいんだろうね。不用に残っていれば、ああって思うけど。どっちがいいのかな。職員をされた経験の田代さんとか井上さんとか内田さんからすると、不用額があまりたくさんあると、何かなって感じるでしょ。

内 田 委 員 当然あるよね。当然、こういう決算のときは、矢面に立っちゃうからね。

平 野 委 員 矢面に。そうそうそう。でも、逆に言うと、こちらからは見えやすいというか。

内 田 委 員 一番目立つところなんだね。

平 野 委 員 そうそう、そうそう。本当は逆に言うとね、用心してその不用額を見せないように補正したりして、するはずなんだけど、意外とね、ぎりぎりになって発覚すると分からないというのもあるんだろうね。補正でき…でも、どうなんだろう。3月ぎりぎりの補正って、してもいいんでしょ。

議 会 事 務 局 長 去年のを参考に、委員さんにお渡しして、こんな形でというのをイメージしていただいて、できれば文章にまとめていただくと、すごく助かるんですが。

委 員 長 じゃあ、そのように取り計らってよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

じゃあ、局長お願いいたします。

議 会 事 務 局 長 休憩をお願いします。

委 員 長 暫時休憩。3時まで。 (14時57分)

委 員 長 休憩を解いて再開いたします。 (15時06分)

審査の内容についての文章にまとめていきたいと思いますが、先ほどの不用額に対しては、どのように文章にしたらよろしいか、御意見があれば。

内 田 委 員 今、案をもらった平成28年の9月14日付のところの（2）でね、不用額が多く見受けられるがというところを、ちょっと言葉を変えれば、大体内容はこれと一緒に思うんですよ。不用額に対してはね。これを一つ入れてもいいかなとも思うんですけど。

委 員 長 どういうふうに変えましょうか。

内 田 委 員 データを分析する…データがいいな、データなんかしなくたってな。

平 野 委 員 でも、どうなんですか。職員やっていたときは、予算計上のときって、やっぱり各課が取り合うような感じなんですか。

内 田 委 員 いや、そうじゃないね。正直言って。ほかの課のことなんか、気にしてなかったと思う。

平 野 委 員 じゃあ、自分の課のほうで、こういうことをしたいというのを積算していつて。

内 田 委 員 そうそうそう。

平 野 委 員 でも、課長レベルでは、きっと何か折衝しているんでしょうね。

内 田 委 員 総額があって、これだけの松田町、予算は来年は。取り合いね、普通でいくと。

平 野 委 員 それはそうだよな。だから取り合いになっちゃうよね。パイは変わらないんだからね。

内 田 委 員 そうそうそう。ただ、大きい事務がどこの課もあると思う。目玉みたいなのが。それは絶対譲れないということでやったけど、あとは小さいやつとかね。

寺 嶋 委 員 こう言っちゃ悪いんだけどね…

議 長 ダメだよ。反対した人は。これ、だって、賛成の案だからさ。

じゃあ、俺が作った、委員長 飯田一のあれでさ、2 番ね、読むよ。歳出の中で、不用額が多く見受けられるが、データを分析というのを、これを消して、予算計上時、精査・分析をし、有効かつ効率よく執行されたいというのは、どう。

平 野 委 員 いいじゃないですか。

内 田 委 員 予算計上時…。

議 長 ちょっとそれをたたき台にしてもらえろ。

委 員 長 ちょっとごめんなさい、もう一回言って。

議 長 歳出の中で、不用額が多く見受けられるが、予算計上時、精査・分析を行い、有効かつ効率よく執行されたい。

平 野 委 員 「精査・分析し」だった。

議 長 どっちでもいいんだけどよ。その辺は、もっといい言葉あれば。

委 員 長 じゃあ、読み上げます。歳出の中で、不用額が多く見受けられるが、予算計

上時、精査・分析を行い、有効かつ効率よく執行されたい。それでよろしいですか。

議長 「分析し」のほうがいいな。

委員 議長 分析し。

議長 「有効かつ」って出てるから。

委員 議長 分析し。それでよろしいですか。

議長 取りあえずな。

委員 議長 それで、あとふるさと納税のやっぱり先ほど議長が総括のところで行われて
ましたけど、どうでしょうか。

議長 長 ふるさと応援寄附金入れるんだったらさ、ふるさと応援寄附金は、近年減少
傾向にありっていうふうな感じで。

委員 議長 そうですね。ここ何年かですよ。おとしぐらいまで。

議長 長 だんだん下がってきてるんだよね。1億5,000万から1億300万ぐらいになっ
て。

平野委員 例の30%ルールがある前は、ヘリコプターとかやってたじゃん。あれ、結構
よかったらしいよ。

議長 長 あれ、大口だからな。30万以上だっけ。

議長 長 30万以上…50万以上か、ヘリコプター乗れるのは。

委員 議長 30万以上は駄目になったんですよ。たしかね。

平野委員 パーセント。

委員 議長 パーセントか。30%か。

議長 長 ということは、やっぱり返礼品によって違うんだな。

内田委員 それはそうよね。

平野委員 もちろんそうだよ。だから、こちらはさ、ブランド品とかすごいね、突っつ
いてはいるんだけど、今の答えの中では、やっぱりそういうことをしてって、
開発をして、より特産品を増やしたいんだって、最後に鈴木さん。

議長 長 じゃあ、その辺の文字、入れたらどうよ。

平野委員 だから、それをね、こっちはブランド品のことを結構突っついちゃってるじ
ゃないですか。議会側としては。補正予算でも委員会で、すごい突っついた。

議長 特産品の開発に力を入れたしとかさ。

平野委員 でも、そう言ったらね、こっちは開発に力を入れているんだって答えだったじゃないですか、さっき。

議長 それでいいじゃん。

委員長 でも、何か議員の中では、そこがちょっと怪しい部分がいっぱいあってってね、何か。

平野委員 だから全然成果が上がってないじゃないかみたいな感じだったでしょう。そのところをどういうふうにするのか言葉で入れていくのかなっていう、難しいよ。確かに、だからね、増やしたいことは増やしたいんだけど、このふるさと応援寄附金。でも、今のままのラインナップでは限界があるということなんですよ。それをどうやって増やすかというので、彼らなりにシティブロモーションしたりとかいうので、この間、補正を上げてきたと。

内田委員 だから議員のほうもさ、反対とか聞くばかりじゃなくて、考えなきゃいけないと思うのよ。

平野委員 そうなんだよね。だから…。

内田委員 うちらも。言っぱなしじゃなくて。

平野委員 それを責めるばかりじゃなくて、責めるんだったら、こういうことも考えられるよみたいにもっていかないよ。

内田委員 そうそうそう。腹案を持ってないと、対案をね。

委員長 さっき鈴木課長が言われていた、いろんな…。

内田委員 そう考えちゃうと、言っぱなしになっちゃうし。

平野委員 そうなんだよね。だから、ほんと、確かに新しいものって、やっぱり定着してみなければ、全然結果出ないので、開発するほうは必死だと思うんだけど、これを…こっちとしてはそれをどう判断していけばいいのかなという、そこは難しくて。そんなことやったって無駄じゃないかって、頭ごなしに全部否定するのは、やっぱりやっちゃいけないかなって思うんだよね。それじゃなくて、それをどう効果的にここへ入れればいいのかっていう。だから、元年度はさ、魅力的な地場産品を開発するとともにっていうふうに、こっちもそれを望んでいるわけじゃないですか。だけど、それによって、ああいう予算としてね、あ

あいうふうに組み立ててくると、いや、その使い方はまずいんじゃないのって
いうふうになっちゃうじゃない。そこをどういうふうにすればいいのかなって。
確かに何の検証もなく、ただただ毎年同じように…。

委員長 検証を入れる。

平野委員 検証だよね。

委員長 検証を入れればいいんだ。じゃあちょっと…どういうふうにしよう。ふるさと
応援寄附金…寄附金に関して…寄附金は…よく検証し。

議長 検証というのは、特産品のことを言ってるんだべ。

委員長 ごめんなさい。特産品…。

議長 それを入れないと。

平野委員 ただ、この間の補正予算聞いてると、やっぱり齋藤議員あたりは地場のもの、
お茶でもミカンでも、本当にもともとある地場のものも、ちゃんと大切にしてい
ほしいみたいなことも言われてらしたので、だから、この令和元年の（１）の文
章の中だったら、この地場産業振興というのを、逆に前に出したらどう。

委員長 地場産業振興。

平野委員 うん。返礼品のあと、ふるさと応援寄附金に対する返礼品は、地場産業振興
を図るとともに、魅力的な地場…特産品を開発し、っていう感じで、ちょっと
優先順位を入れ換えたらどう。

委員長 地場産業、何。

唐澤委員 図るとともに。

委員長 地場産業を図る。

唐澤委員 とともに。

委員長 「図る」で、おかしくない。地場産業を図る。

平野委員 みんなの意見はどうって、まだ書かないで。どうなんだろう、どういうふう
に表現すればいいのかな。

議長 今、内田さんが言ったように、地場産品の振興を図るとともに。

委員長 地場産品の…。

議長 振興を図るとともに。それで何か、いい言葉、つなげられない。図るととも
に。

平 野 委 員 結局、それだけのラインナップでは、とても限りがあるから、新しいものも欲しいわけでしょう。そうすると、だから…。

議 長 新商材の開発に努められたい。返却品なんか、入れちゃだめだ。何だ、返却品って。

委 員 長 何これ、返礼品だよ。

内 田 委 員 地場産業振興…。

平 野 委 員 そうだそうだ。じゃあ、地場産品の振興を図るとともに、魅力的な特産品を…魅力的な特産品…。

内 田 委 員 の開発計画。

平 野 委 員 の開発を…。

議 長 開発に努められたいでいいじゃんか。

平 野 委 員 （検証せよ）。（検証せよ）だよ。

委 員 長 もう一度言ってください。

平 野 委 員 ちょっと待ってよ。その「検証」という言葉がうまく入らないよ。

議 長 そうするとでも、書けないじゃない…書かないじゃんか。

委 員 長 今まとめようとしているのに、横で何も書かないで、こんなになって。

平 野 委 員 「検証」という言葉をどこに入れればいいんだ、それ。

唐 澤 委 員 「開発し、検証されたい」じゃ、ちょっとおかしいですかね。

委 員 長 ああああ、そうですね。

平 野 委 員 魅力的な特産品を開発…。

議 長 開発し、検証というのは、おかしいべ。

唐 澤 委 員 おかしいですか。

議 長 検証というのはさ、確認という意味があるじゃん。それが、それに…。

委 員 長 じゃあ、検証し、ここは開発でいいんだね。同じですよ。検証してから開発するんじゃ。

議 長 そんなややこしい言葉、入れないのがいいよ。

委 員 長 でも、何かね、検証はすごい言われてきているんだよね。

平 野 委 員 そうなんだよね。

古 谷 委 員 分けなきゃ無理でしょう。分けたほうがいいですよ。一緒じゃ無理だよ。片

方が作れ、片方で検証しろって、ちょっと。

平野委員 アクセルとブレーキだよね、これね。

委員長 そうか、真反対のこと。

議長 返礼品は返却になる。

平野委員 返却されちゃうんだね。

内田委員 振興を図るとともにだね、新たな…。

委員長 じゃあ、まず1つ目が、検証のほうからやります。ふるさと応援寄附金の返礼品については、十分に検証を行う。

平野委員 そうじゃない、そうじゃない。

内田委員 違う違う、それは開発…。

平野委員 ふるさと応援寄附金に対する返礼品は、地場産品の振興を図るとともに、魅力的な特産品を開発されたい。開発し、歳入増を図られたい。

内田委員 そうだね、そこが必要だね。

委員長 じゃあ、検証はいいですか。

平野委員 検証は別立てにして、ブランド品。

委員長 ブランド品…あ、そうか、ブランド品の。

平野委員 特産品。でも、まあそこで…。

古谷委員 松田ブランドだったっけ、何だったっけ。正式な。

委員長 齋藤さんが言ってるじゃない、何か。

議長 これもまた違うのかよ。

委員長 違うやつなんです。

平野委員 特産品とブランド品は違うみたいなんだよ。

議長 ブランド品と特産品…え、そうかよ。

平野委員 それもよく分からない。

古谷委員 ブランド品は認定されたやつですよ。

平野委員 そうそう、そうそう、そう。

古谷委員 認定されたやつ。補助金を出して作ってもらって、認定されたやつがブランド品ですね。

委員長 3つしかない。

古 谷 委 員 で、それができたブランド品がどうなってるかを検証されたいという話ですよ
ね。

議 長 いや、俺はね、特産品の開発はよ、寄あたり行ってよ、これからアシナガが
出るべ。ああいうキノコをね、特産品に使ってもいいと思うんだよな。

平 野 委 員 中野議員なんか、自分で栽培してるよ。アシナガを。

議 長 栽培とさ、自然に出るのと。

平 野 委 員 違うよね。違うよね、全然違うよ。

内 田 委 員 とれるかよ、そんなに。

議 長 違う違う、自分でとりに行くんじゃないんだよ。とりに行く人がいるから、
その人から買うわけよ、町が。それで、ほら、保存みたいな形にしておいて。

平 野 委 員 でも、送れる。冷凍して送るの。

議 長 いや、それはだから、それを研究しないと。

古 谷 委 員 一次確保しないと…。

議 長 それが特産品の開発だべよ。

平 野 委 員 そうね。

議 長 そうすりゃ俺はね、いいと思うよ、絶対。

平 野 委 員 そんなこと言ったらさ、サクラマスだってさ、伸びしろはあるよね。おいし
くなるものだと思うんだ、あれ。

議 長 おいしくない。

平 野 委 員 おいしくなるもの。

議 長 だけど、サクラマスってさ、どこでもやってるんだよな。

古 谷 委 員 栃木県あたりはやってます。

議 長 富士宮でやってるべ。

平 野 委 員 淡路島。淡路島はすごく有名。本当にね、おいしいらしいんだよ。何か、ど
うもね、一度海に入るとおいしくなるみたいなこと言ってる。だから、真鶴あ
たりと提携してさ、山で生まれ、海で育つみたいにブランド化してさ。

議 長 海へ放して。生けすで。逃げられちゃうといけないから。

平 野 委 員 真鶴だって、これから大変なんだから。

古 谷 委 員 話が飛んじゃうんですけど。

委員長 「検証し」っていう言葉はちょっと入れにくいね、この中に。

平野委員 特産品やブランド品の…松田ブランドや特産品については、何だろう。

古谷委員 補助金を出したところですね。

平野委員 そうそう、そうそうそう。

古谷委員 補助金を使ったところの特産品を…。

平野委員 じゃあ、補助金を出した開発品は、十分に検証をされたい。

議長 それで、一番簡単なのが1つ見つかったんだけど。決算審査特別委員会で指摘された事項については、改善検討し、今後の事業に実施されたい。

平野委員 5番でしょう。これの5番でしょう。

議長 これ、いつもね、引っかかるじゃん。これ、いいじゃん、別に。これをちょっと文字を変えて、文章を変えてさ、内容的にはこういうふうなことを入れて。

平野委員 これはさ、当たり前のことだから、この後、使わなくなったんだと思うよ。これは。

議長 当たり前なことを俺、大事だと思うよ。

平野委員 これは当然でしょっていうことだから、この後、書かなくなったんだと思うよ。それか、その年は書くことがなかったか。でも、5つ目だものね。何か、どの年も大型事業のこととか、財政運営、長期的な。ことをちょっと書いてあるんだけど、令和元年はね、括弧書きのところにはないんだけど、本文の中に入ってるのね。財源確保に引き続き取り組むとかさ、小学校建設があるからとか。審査の内容の本文に入ってるんだよね。

委員長 そうしましたら、一番最初にブランド品、特産品については、補助金を出した後、よく検証されたいというのを一番最初に持ってきますか。

平野委員 最初に行く。

委員長 どれを最初にしたほうがいいですか。

平野委員 不用額のは最後でいいかなって思うんですよ。

委員長 どれが最初がいいかしら。最初にふるさと納税。

平野委員 ふるさと納税のほうが最初でいいんじゃない。まずは、頑張っって。

委員長 まずはふるさと納税の。1番が…。

平野委員 学校建設と、それに続いてまた駅のことが出てきて。しかも先ほどちらと

言ってたコロナによって交付税は減らされるんじゃないかという話が出てきて。何かその辺りがちょっと心配な感じはするんだけど。それはどう判断すれば。大型事業が相次いで計画されているが、新型コロナの影響も考慮しながら、実施の規模や時期については…。

委員長 優先順位を決めてって言われたよね。でも、これって出たっけ。この内容って。今の委員会で。

平野委員 出てない。

委員長 だから書けない。

議会事務局長 よく審査の内容にですね、例えば今回の議長の問いに対して、委託の計画書の類は、報告ということで副町長がお約束してくれましたよね。それとあと指定管理、唐澤議員の絡みで、ドッグラン・スプラボの報告書の関係で、しかるべき時期を含めて全協でとか、全協の場所で言ってましたけど。こういう確認はここではとれたんだけど、あえて報告書で再度確認するという手法も、私は決算が1回で予算が1回しか出てないんですけど、そういうような傾向はあります。この中で町が約束してくれたことも、あえてこのところに入れさせてもらうという、そういうのもありますので、その辺を考慮していただいて。

委員長 そうですね。それしないと出てない方が分からない。

議会事務局長 そうですね。はい。

平野委員 でも副町長も委託料が出てるものでいろいろあるけど、計画策定に関するものはって言ったよね。

議会事務局長 言っていました。

平野委員 それは総合計画とかそういうやつのこと。それは今までも報告されてるよね。

議会事務局長 もうちょっと細かいやつで何とか委託。設計…工事に溶け込んだりするようなやつはあまり出してこないんですけど。今回女性活躍って言われたんでしたっけ。関係人口何とかって言いましたっけ。それは何となく計画なんじゃないのっていうふうに言われたかと思います。

委員長 1つずつまとめていきましょうか。一番最初に出た。

議長 それで入れ替えてもいいやな、最後にな。

委員長 ふるさと応援寄附金ですね、最初。

平 野 委 員 　　でも、ふるさと寄附金のことと、それはだから頑張れというほうだよね。

委 員 長 　　　じゃあ、そのふるさと応援寄附金と、次が…。

平 野 委 員 　　さっきの特産品の検証でしょ。

委 員 長 　　　2 番目が特産品の検証。

平 野 委 員 　　あと今、局長が言った委託料とか指定管理とかで、要するに見えにくいもの
 　　　　　　　　だよ。そういう見えにくいものに関しても、議会に逐次…逐次じゃない、適
 　　　　　　　　宜かな、適宜報告するって言ってたから。

議 長 　　　　　そうだな、委託料の報告は確約取ったからさ。内容によっては議員に報告を
 　　　　　　　　してもらいたいと。

平 野 委 員 　　指定管理も一応約束してくれたよ。何らかの形で報告するっていうふうに。
 　　　　　　　　だからそれは入れられるんじゃない。

委 員 長 　　　適宜報告を約束してくれたんだけど、それは報告されたいにするの。

平 野 委 員 　　うん、いいんじゃない。あと不用額のこと。

委 員 長 　　　不用額はどうやってまとめますか。

平 野 委 員 　　さっきほら、何かこの文章を使えばいいって言ってたじゃん、平成28年の
 　　　　　　　　（2）番。

委 員 長 　　　じゃあすみません、行ってきますので。暫時休憩ですね。　　　　　（15時33分）

委 員 長 　　　それでは再開いたします。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（15時50分）

　　　　　　　　では局長、朗読してください。

議 会 事 務 局 長 　　では、読み上げさせていただきます。

　　　　　　　　令和 2 年 9 月 16 日、松田町議会議長 飯田一殿。決算審査特別委員会委員長
 　　　　　　　　南雲まさ子。

　　　　　　　　決算審査特別委員会報告書。本委員会は 9 月 16 日に委員 6 名全員出席のもと
 　　　　　　　　に、役場 4 階大会議室で委員会を開催し、令和 2 年第 3 回議会定例会において
 　　　　　　　　付託された「認定第 1 号令和元年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定につい
 　　　　　　　　て」慎重に審査いたしましたので、次のとおり報告します。

　　　　　　　　記、1、審査の結果。採決により賛成多数で認定すべきものと決定しました。

　　　　　　　　2、審査の内容。歳入については一括、歳出については各款を単位として適
 　　　　　　　　切な執行がされたかを中心に審査を行いました。

なお、次のことについて留意されたい。

1、ふるさと応援寄附金に対する返礼品は、地場産品の振興を図るとともに、魅力的な特産品を開発し、歳入増を図られたい。

2、補助金を出したブランド品は十分に検証されたい。

3、各種委託料の成果品のうち、計画書の類に関するものは、実施内容やその効果を適宜報告されたい。

4、指定管理委託料の中で、スプラボ、ドッグラン、ロウバイ園の運営状況、経営報告の検証を行い、適宜報告されたい。

5、歳出の中で不用額が多く見受けられるが、予算計上時、精査分析し、有効かつ効率よく執行されたい。

以上です。

委員長 はい。この報告書に対して皆様の御意見を伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

平野委員 2番の今ふと思い出したんだけど、ブランド品は誰か質問したんでしたっけ。質問をここでしてないと、入れると変なんですよね。

委員長 ブランド品はしてないですね。

平野委員 してないよね。だからちょっとこれは入れられないね。

委員長 じゃあ、ここでは2番は外します。

平野委員 そうすると、何か1番にうまく入れ込みたい気もするけど。そうするとさっきと同じ二の舞になる。

内田委員 1番と2番はな、同じようになっちゃうな。

委員長 「開発し」の後に補助金を出したブランド品は十分に検証し、歳入増を図られたいではおかしいですか。

平野委員 やっぱブランド品のことを誰も言わなかった気がするんですよ、委員会で。

委員長 じゃあ入れようがないですね。じゃあ入れないで…。

平野委員 だから、特産品は言ったんだっけ。

委員長 誰か言ってませんでしたか。平野さん、言わなかったっけ。

平野委員 特産品…。

古谷委員 俺がちょっと言いましたけども。

委員長 ああ、そうかそうか。

平野委員 あ、そうだよね。

委員長 じゃあ入れられないですね。

古谷委員 この前の予算の特別委員会のときでしたっけ。出たのは。

平野委員 そうそう、そうなんです。補正予算のとき。相当言ってた。

古谷委員 そうですよ。

内田委員 1に何か合わせてできないのかな。

委員長 やっぱりブランド品が出なかったから入れようがないんですって。

内田委員 ブランドを使わないで。

委員長 ブランドは使わないで。

議長 この前の委員会の中でこれ、出てたよな。

古谷委員 続けてさ、歳入増を図られたい。なお過去のブランド品について十分検証されたい、つなげちゃおかしいか。

唐澤委員 地場産品の振興の、その2行目の前に。

議長 じゃあよ、分かった。歳入増を図られたいで、それで、そのけつにさ、また補助金を出したブランド品は十分に検証されたいというのはどう。「また」って入れて。

平野委員 だから、そのブランド品ということを今回誰も突つかないから、ここへ入れられないねっていう話なんです。

委員長 じゃあ、開発し…。

平野委員 図られたいで1回切って、なお開発に補助金を出したものについては、しっかりと検証されたい。

古谷委員 「ブランド」を入れないでね。

平野委員 その言葉を使わないけど、開発に補助金を入れたっていうことを言えば、何となくそっちもカバーするかなって。

委員長 なお。

平野委員 なお、開発に補助金を出したものについては、しっかりと検証をされたい。

内田委員 その前の開発も入れちゃう。魅力的な特産品を開発。

平野委員 これ、入れたままにしないと続かない。

内 田 委 員 開発し、歳入増を図りたい。

平 野 委 員 で1回切って、なお開発に補助金を出したものについては。

委 員 長 そうするとつながるか。

内 田 委 員 開発が続いたんだけどね。

平 野 委 員 言葉が2回使っちゃうけど、しょうがない。

委 員 長 ほかにはございますか。

内 田 委 員 いいですか。審査内容の、大きい2番のね。今までのやり方したら、最後の言葉が「留意し執行されたい」というのが多かったんだけど。ここは「留意されたい」だけで終わってるんだけど。これはどうかなっていう。

平 野 委 員 「執行されたい」が最後にあるからじゃない、(5)に。

内 田 委 員 それで全部…そうかそうか、そういうことか。これは5番だけの執行されたいという意味なのか。全部を通して。

委 員 長 いや、5番だけです。

議 会 事 務 局 長 あと去年おととして、もしかすると予算のをそのまま使ってるから、予算だと執行されたいですね。

内 田 委 員 これね、みんなそうなんだな。

議 長 じゃあこういうのはどうよ。「留意されたい」の前にさ、「十分」という言葉入れるの。十分留意されたいと。そうすると、語呂もよくない。

平 野 委 員 ちょっと落ち着くね。

内 田 委 員 みんな「留意、執行されたい」なんだな、今までの。

平 野 委 員 でも、さっき局長がおっしゃったみたいに、(5)番の執行されたいも考えたら変だよな。決算の話だもんね。

内 田 委 員 そうだよな、そうなんだ。

委 員 長 そうですね。でも、予算に対して執行されたいだからいいんじゃないんですか。決算で。

議 会 事 務 局 長 5番はあれですね、最後予算計上をしてほしいみたいな言い方にしちゃえば。

平 野 委 員 だから予算計上時、十分精査されたいでいいんじゃない、精査分析されたい。

内 田 委 員 執行はいらないよね。

平 野 委 員 じゃあ逆にして、十分精査分析し、予算計上されたい。

内 田 委 員 予算計上に臨みたいとか。

平 野 委 員 うん、うん、どちらでも。

内 田 委 員 執行されたいは違うな、これな。

平 野 委 員 予算の話じゃないからね。

委 員 長 歳出の中で不用額を多く見受けられるが、精査分析し予算計上されたいでいいですか。

議 会 事 務 局 長 十分。

内 田 委 員 十分だな。

委 員 長 ほかにはございますか。

内 田 委 員 あと（１）番の「はかる」は漢字のほうがいいのかなと思うんだけど。平仮名で「はかる」、どうなの。

平 野 委 員 １回目のね。そうすると「図る」が２回出ちゃうのか、やっぱり。地場産品の振興を図ると、歳入増を図られたい。

委 員 長 ああ、ほんとだ。

内 田 委 員 そうか。でもな、下も…。

平 野 委 員 地場産品を振興するとともに、にしちゃえば。地場産品を振興するとともにすれば、図るを１回乗つけられる。

内 田 委 員 ちょっとつながっちゃうからな、「図る」が。

寺 嶋 委 員 努められたいだな。

内 田 委 員 振興に努めるとともにか。

平 野 委 員 ああ、そうかそうか。「努める」という言葉も使えるね。そうしたらそっち直さなくて平気だね。

内 田 委 員 地場産品の振興を…。

平 野 委 員 を図るとともにのままでして、歳入増に努められたい。

内 田 委 員 そうそう、そうそうそう。

議 長 それのほうがいいかもしれないね。

委 員 長 ほかには何かございますか。

議 会 事 務 局 長 ４番は３つの、分かりやすいようにあえて施設指定しちゃったんですけど。ほかにもありますか。

議 長 じゃあさ、ロウバイ園の後ろに「等」って入れようよ。ロウバイ園等の運営状況。

古 谷 委 員 まだほかにもあるということですよね。

議 長 ほかにあるかもしれないからさ。

内 田 委 員 「等」か「など」だな。

平 野 委 員 これからは増えるよね。

議 長 これから出るものに備えてますっていうふうにして。

平 野 委 員 これからだってね、増えそうな気配だよね。

議 長 だって公園条例なんか出りゃあな、また。

平 野 委 員 だって文化センターだってそうなるかもよ。

議 長 そうなるんだからさ。今はこれだけかもしれないけど、まだまだ出てくるかもしれない。

委 員 長 じゃあこれからのに。

議 会 事 務 局 長 じゃあ、それに…。

内 田 委 員 等。

議 会 事 務 局 長 等は何よと聞かれたら。

内 田 委 員 ああ、聞かれたらね。

委 員 長 心配してくださってるの。私が頼りないから。

内 田 委 員 いいんだよ、みんなで決めたんだから。

委 員 長 そうだね、文化センターやハーブ館がこれから指定管理になっていく中でね。

議 長 それでもう一回打ち直してくればいいじゃんかよ。

委 員 長 はい、よろしいですか。

議 長 活字にして見るとな、分かりやすいんだよな。

委 員 長 それじゃ報告書の修正をするために暫時休憩いたします。 (16時04分)

委 員 長 では、休憩を解いて再開いたします。 (16時13分)

それでは局長、2の審査の内容のところからお願いいたします。

議 会 事 務 局 長 じゃあ2の審査の内容からお願いします。歳入については一括、歳出については各款を単位として、適切な執行がされたかを中心に審査を行いました。なお、次のことについて十分留意されたい。

1、ふるさと応援寄附金に対する返礼品は、地場産品の振興を図るとともに、魅力的な特産品を開発し歳入増に努められたい。なお、開発に補助金を出したもののについては、しっかりと検証されたい。

2、各種委託料の成果品のうち、計画書の類に関するものは、実施内容やその効果を適宜報告されたい。

3、指定管理委託料の中で、スプラボ、ドッグラン、ロウバイ園等の運営状況、経営報告の検証を行い、適宜報告されたい。

4、歳出の中で不用額が多く見受けられるが、十分精査分析し予算計上されたい。

委員長 長 はい、これで何かございますか、これに対して。

議長 長 あのさ、審査の内容、2番ね。その3行目なんだけど。なお次のことについて十分留意されたいってなってるんだけど、なお「今後」を入れたらどうかなと思うんだけど。なお、今後次のことについて十分留意されたいというのが、文が落ち着くような感じがするんだけど。

内田委員長 何番ですか。

委員長 長 審査の内容の3段目。

議長 長 なお次のことについて十分留意されたいって、すっところ行っちゃってるじゃん。それで、なお今後って入れることによって、ちょっと重さみたいなのが出てくるかなって感じがするんだけど。なお今後次のことについて十分留意されたいというふうにしたらどうかなと思うんですけど。あとはこのまんまでいいと思うんですけど。

委員長 長 はい。「今後」を入れる。はい、どうでしょうか。どうでしょうか、「今後」を入れる。

平野委員長 どっちでもいい…どっちだろうね。広報委員長はこれを紙面に載せるというときに、ああ、こんなところに今後があるから一段増えちゃったとか、後で悩むかも。

寺嶋委員長 確かに従前に入ってる。

内田委員長 従前入ってるね。前には。

古谷委員長 前のは入ってるんですよね。

内 田 委 員 なお、今後は、なおから次だ、今後だね。なお今後は次のことについて。平成28年の飯田委員長のもの。

議 長 だから思い出したんだろう。

平 野 委 員 過去の記憶が。

委 員 じゃあ入れますか。

内 田 委 員 「なお」の次に「今後」。そのかわり「十分」という字が抜けてる。なお今後は次のことについて留意し執行されたい。

議 長 執行されたいというのは、執行されたいまでは入れなくていいかなと思うんだよね。

平 野 委 員 執行は予算の話になっちゃうから。

内 田 委 員 だからさっき。

平 野 委 員 まあ予算のことなんだけどな、こういうふうにしてくれっていうのは。でもその理屈で言うと、（４）番の不用額の書き方は、この書き方だと予算のとき気をつけてくれっていうことで。監査役なんかは、途中で分かれば補正しろと。田代さんも途中で分かたら補正措置しろということなんだけど。どっちに重きを置くかなんだよね。

内 田 委 員 今回は決算のあれだから、田代さんが言うように、もう早く分かったものはその補正かで減にしろとか、そういう意味だと思うんだよな。

議 長 補正でな。

内 田 委 員 補正で。

委 員 でも、その話出なかったから、どうなんですか。出なかったでしょ。

平 野 委 員 不用額が多いという指摘はしてるよ、何人かが。

議 会 事 務 局 長 言ってますよ。環境上下水道課のときに、町民のお金を使ってるんだから…。

平 野 委 員 それは内田さんが言ってる。

議 会 事 務 局 長 多めに見るといふの、多めに膨らませて予算計上しましたというのは違うんじゃないのといふのを、たしか言ってると思います。

内 田 委 員 環境上下水道課さか。ああ、そう。多めに見ましたというから、ちょっと私、反対意見言ったんだけど。

平 野 委 員 多分ね、でもね、職員が予算計上していくときに、多めに多めにというつも

りではないと思うんだよ。こういう仕事のためにこのくらいとっておきたいというのを、若干余裕を持ってっていうのはあるかもしれないけど、多分多めにというのは、あれ口がちょっとこう滑ったっていう。

議長 そんな多めにとれるほど、そんな裕福じゃないよ。

内田委員 だからよく予算が通ったと思ってさ。

平野委員 多分それは本心じゃないかな。

内田委員 余裕を持って。

平野委員 余裕を持ってって言ったね。言った言った。

内田委員 その30年度の決算も600万も余ってて、今回四百何十万。

平野委員 そうだね、何回もそうだったからね。

内田委員 2回続いたて。その前も多分そうだと思うよ。29年度も。

委員長 じゃあ、担当課の中でのその不用額を使うというのは大丈夫なんですね。

内田委員 ああ、だからそれはね、流用してとかあるけど。

委員長 そのことを言われるのかな。

内田委員 普通はあまりな、普通はもうそんなことはあまりやらないけど。

平野委員 でも、あまりにも大きくなるなと思ったら、年度途中で補正額上げて。だからさっきほら、自主事業の500万はまるっきり補正減を1回してるので。そういうのは本当に分かった段階にちゃんと対処はしてると思うんだ。

委員長 でもそれ、すごい大事なことですよね。

内田委員 あれは年度の最後まで分からなかったなんて言ってたけどさ。

委員長 じゃあこれ、予算計上っていうのもちょっと何かあれだから、それを入れ直すか。

平野委員 年度途中のほうを。ただ、私は逆のことを言っちゃったじゃん。私、ほら、文化センターの予算は来年これで自主事業できなかったからって減らさないでねって言っちゃったし。

委員長 だから、いいじゃん別に。やればいいし、買えばいいし。

平野委員 図書館のこともそう言っちゃったし。だから予算取るときにこの実績で取りますとか言うとか。

内田委員 俺もどっちかという当初予算だよな。俺のあれも、さっき言ったのはね。

平 野 委 員 　私は逆にね、だから今年はできなかったのは事情は聞いたけど、それで来年度の予算計上をけちらないでねって逆に言っちゃってるから。

内 田 委 員 　だから由里子さんも俺も同じなんだよ。だから来年度予算でちゃんとそれをやってくれっていう話だから。俺もだからそう言ったけど、来年度予算組むときはよくその辺は精査して予算を組んでほしいっていう意味だから。執行残が残らないようにね。いいんじゃないの、だから。

平 野 委 員 　精査分析でね、必要なものにはつけてくれってことでもあるしね。

委 員 長 　予算計上されたいっておかしくはないですか。

議 長 　いいだよ。来年以降の予算には十分この辺を留意してくれと。不用額が出ないようにしてくれという意味だから。

委 員 長 　大丈夫ですか、はい。じゃあ、「今後」だけ入れさせていただいて、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

それでは、「今後」だけです、局長に打ち直していただいて。

議 長 　もう見なくていいよ。

委 員 長 　よろしいですか。

内 田 委 員 　自分で書いておきやいいよ。

平 野 委 員 　みんないろんなところに、全然違う位置に「今後」が入ってたり。

委 員 長 　この報告書を18日の本会議で報告させていただきます。

本日は長時間にわたり御審査をいただき、ありがとうございました。これをもちまして決算審査特別委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。
(16時22分)

この議事録は事務局が作成したものであるが、その正確なることを証するために署名いたします。

令和 3 年 1 月 2 7 日

一般会計決算審査

特別委員会委員長 南雲 まさ子